



やったあ！
 「五百メートル泳げたじゃん！」
 初めて
 五百メートル泳ぎきった。
 わきあがる
 歓声と拍手。
 肩を寄せあって
 しりごみしていた子の
 目が輝きはじめる。
 暑い夏の日ざしが
 強烈に心に残る。

昭和53年 8月 1日 / 編集・発行 / 岡崎市教育委員会



(くすの木のようにたくましい強じんな心身を一梅園小)

日本で初めてのころみとされる生物学研究機構という制度のもとに、私共の研究所と基礎生物学研究所が岡崎の地に生れました。新しい研究所は、日本における最も優れた国際的研究所を目指しております。完成の暁には、生理学の研究所としては世界的にも屈指のものとなる筈であります。それを目指して日本の全生理学者の衆智と協力によってできたのが私共の研究所であります。へ

—教育随想—

竜美ヶ丘から

内園耕二



この研究所は、国内は勿論、国外に広く門戸を開けております。掛声だけのことでなく制度的にこれが保証されている点はまことにユニークであると考えております。

汚濁の水に顔をそむけた、お茶の水の聖橋下の堀に、それでも近頃緋鯉の姿がかすかに濁った水を通して確認できるようになりました。

そんな東京から一年前にこの地に移り

住んで極めて印象的であったことは、乙川の澄んだ水の中に鯉が泳いでいる姿を発見したことでした。竜美ヶ丘の宿舍の夏の夜明けは早く、五時頃になるとヒバリのさえずりが枕もとに心地よく聞こえて参ります。

研究所の草むらや、竜美ヶ丘の近くの空地に、色鮮やかなキジを見つけたときは、思わずその後を追ったものでした。前々から耳にしていた碩学本多光太郎

を経て、KS鋼のホンダとして世界的学者に育っていかれた軌跡が、鮮やかに年譜に記されています。儒夫をして立たしめる先生の足跡であります。

折からの五月の陽光を浴びて、青年男女が、ただ無邪気にたわむれている姿が印象的です。本多先生が、岡崎の生んだ大物理学者であることを意識している面にはどうしても見えませんでした。先生の生家は、訪れる人も少く、ひっそりと林の中に立っております。

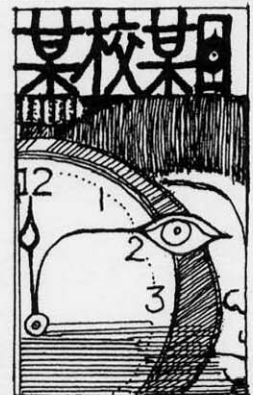
公園から東名高速道路の上にかかる歩道橋を渡ってしばらく人気の少ない道を歩くと、志賀重昂先生の銅像があります。

三河平野を見下す景勝の地に、明治の国士の地理学者の像に遭遇して、はっと胸をうたれます。日露戦争の平和交渉に参加し、樺太の国境策定に参画した学者と知って感入りました。志賀重昂作の『三河男児』の歌を知るに及んで、正にこの人にしてこの歌ありのおもいを新たにいたしました。

家康以来三百年、ここ三河岡崎の地には、近代日本の夜明けの息吹きを感じられ、生きた日本の歴史があります。

この地はまた日本の中枢を貫通する大動脈東名高速により、日本の要所と連なっております。明治・大正・昭和三代にして到達したすまじいばかりの日本産業勃興の轟音を聞くことができます。

私共の研究所は、よくぞ、この地に卜する機縁を得たと、喜びと責任を感じる次第であります。(生理学研究所長)



どろんこ遊び

落合敬子

雨がりの昼休み。時間内に給食が食べられない一年生相手に四苦八苦しているとそこへ目をきらきら輝かせて飛びこんできたのはA子。

「先生、すごいよ。すごいダムをつくつたよ。みんなで、どろをドドーンとおしてね……」

夏みかん嫌いのT夫に皮をむいてやりながら、何気なく聞きながら。

「先生、ほんとにすごいんだよ。あとで見にきてよ。」

「じゃあ、清掃の時行くね。」

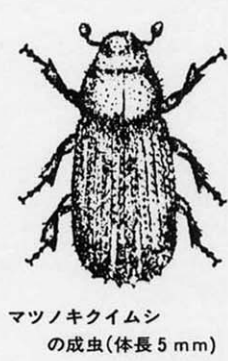
どうやら全員の給食の後片付けを終えA子の約束を果すべく外庭へ。

「すごいことやってくれたよ。」

とはT先生のいわくありげな言葉。子供たちの立つ学級園を一目見た私は、びっくりして声も出なかった。そこにあるはずの、昨日種まきしたほうせんかや百日草の畝が、見る影もなくどろの海と化していたのだ。その上、T丁寧に、あちらこちらに尻もちのあとまである。

ひと昔前、伊賀八幡宮に、子どもでは二人でもかかえることのできないほどの松の木がたくさんあり、その木陰は子供達の格好の遊び場であったが、昭和二十八年の十三号台風で枝が多く折れ、樹勢が弱まってしまった。そのあとマツクイムシの被害を受け、太い松はほとんど枯死し、切り倒された。伊賀八幡の松だけではない、市内の名松でこの害虫のためには消え去り、また、枯死の危機にさらされているものが少なくない。

マツクイムシの被害や、駆除の薬剤散布のことは、時々新聞紙上ににぎあわせるのでご存知の方が多いと思うが、かんじんのマツクイムシはどんなものか知っている人は少ないと思う。松の葉を食べ、十センチぐらいの大型の毛虫（マツケムシ、マツカレハの幼虫）のことを言うか。また、マツクイムシという種類の昆虫がいます。鞘翅目（カブトムシのような甲虫のなかま）に属し、松の木に害を与える虫の総称である。くわしく言うと、キクイムシ科・ゾウムシ科・カミキリムシ科などに属し、松の皮の裏の鞣皮部（やわらかい部分）を食べる害虫である。



マツノキクイムシの成虫(体長5mm)

このうち、最近の知見で、マツノマダラカミキリがマツノサイセンチュウという線虫を媒介して、松を枯らすという場合の被害が大きいということがわかり、薬剤の空中散布をおこなうようになった。マツクイムシそのもので被害の大きいものは、クロマツに多いマツノキクイムシ、アカマツに多いマツノキイロコキクイムシ、それにマツノシラホシゾウムシである。

市内で今年にはいつて被害の多い地方は、東阿知和・西阿知和の東名沿い、奥山田、細川で、ハツ木、箱柳、小呂がそれに次ぎ、被害が出はじめているのは高隆寺、洞、真福寺などで、今年も薬剤の空中散布が行なわれた。ところで、この薬剤散布については、最近反対の声も大きくなった。公害問題だけでなく、マツクイムシの天敵も殺してしまつて、森の生態系をこわしてしまつたというのがある理由である。一番よい予防法は、被害を受けた木の皮をはいで焼いてしまつことである。枝なども焼却したほうがよい。

松は三河人の心のふるさつである。私たちの手で松を守る手だては、というと、まず野鳥保護のための巣箱づくりがあげられる。また、おおぜいで松林の中にはいり、目につきやすいマツクイムシの採集を試みることも有意義であると思う。(羽根小 加藤 祐弘)



マツノキクイムシの食痕、太い方が成虫細い方が幼虫のもの

「こ、こらーっ。」

けれどどの子もキョトンとしている。見れば手も足も顔もどろだらけ。ああ、

(大門小)

「あ、汗がこぼれるぞ。」

見ると、トラックの荷台からポタリポタリと、異臭を放つて落ちている。

トラックには、生鶏糞が満載されている。その臭いたるや、息もできないほどだ。道行く人も顔をしかめ鼻をおさえる。緑の学園を夢見て、広い校地に数千本の樹木を植えたまではよかったが、これに全部肥料を与えるには、それ相応の金を積まなければならない。

そこで考えたのが鶏糞と衛生センターの処理肥料(泥土)である。

と、ここまでは一昔以上も前の話。どうもこのころ木の勢がない。葉の色がよくない。肥料切れであることはわかるが先立つものがなんとやらで、昔の珍肥を思い出した。早速、衛生センターへ走った。「臭いなあ」と生徒は遠慮がない。「今年やばかにハエが多いなあ」とハエ叩きで職員室を回る人。がぜん、学校がさわがしくなった。

しかし、この悪臭さわぎも収まった頃サザンカもタマイブキも、美しい緑をとりもどし今では何くわぬ顔で夏の風を受けている。

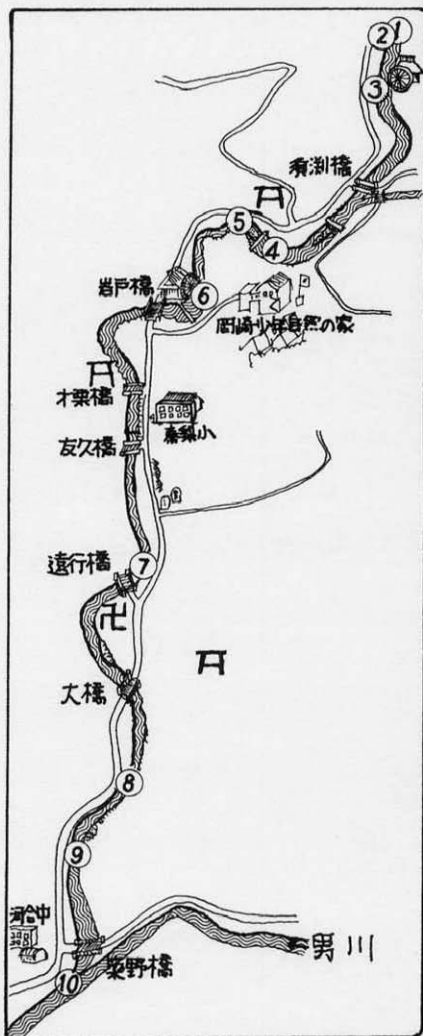
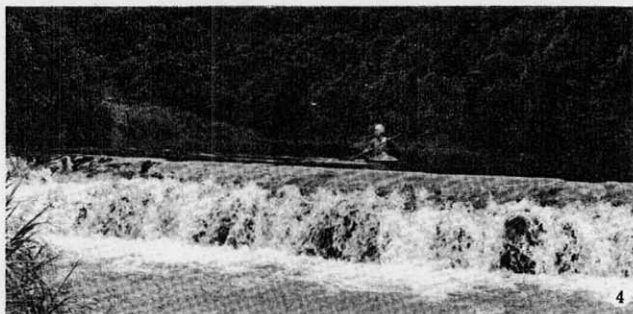
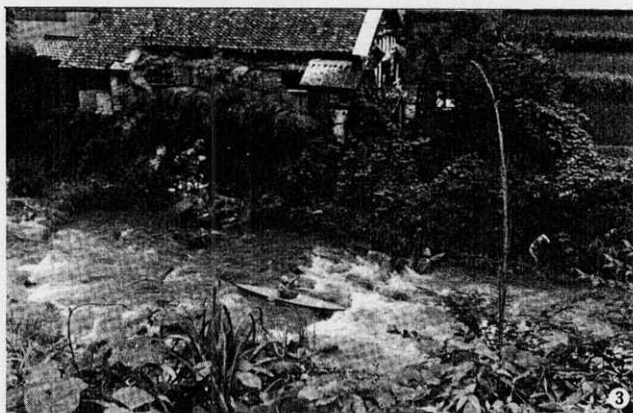
(城北中)

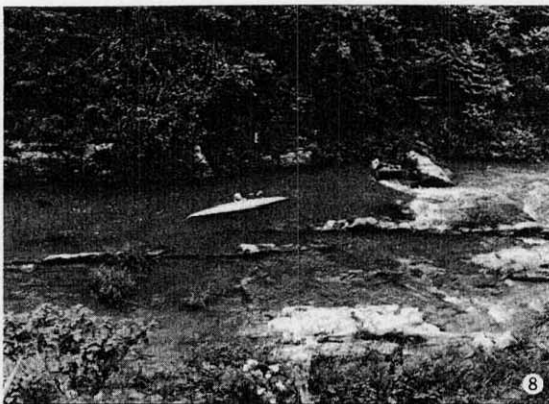
珍肥 杉崎 利兵衛

岡崎再見

⑧ 乙川を下る

その一





8



9



10

- ① 須渕から額田町を望む。
- ② パドルをにぎり、いざ出発。五十メートルも行かぬうち激流に吞まれる。
- ③ 水車小屋を横目に、かなりの難所。ほたるの広場のせき。
- ④ またまた難所に突入。
- ⑤ 由良苑前の静水にひといき。
- ⑥ 秦梨、遠行橋付近。このあたりに秦梨城があったという。川西の水田に水路の水をひくためのビニール管。
- ⑧ 板平付近の溪流。風景にみとれてまたまた転覆する。
- ⑨ 河岸の岩盤にたまった水は、靈験あらたか、いば取り地蔵の水。対岸には昔日、発電所があった。
- ⑩ 男川と合流、アヒルが迎えてくれた。

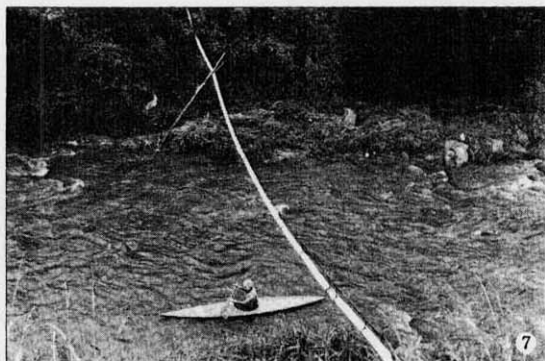
見なれた岡崎、視点を変えて見てみようという「岡崎再見」シリーズ。今回は、川面から岡崎を眺める試み。ゴムボートとカヌーを準備。上流はゴムボートではとても無理。止むをえずカヌーで額田町との市境をスタート。
上から見るとつゆ空に増水した川も適当な流れに見え軽装でカヌーに乗る。だが下ってみると意外に難コース。ゴロゴロした岩石の連続は高度なテクニクを要求する。あつという間にバランスを失い舟底を空に向ける。コーヒー色の泥水を二、三杯飲んで、あわててヘルメットとライフジャケットを着用。男川と乙川の合流点へ来てはっと一息。魚がはねる。小鳥のさえずりがきこえる。アヒルが誘導してくれる。



5



6



7

教育日々



三分間勉強

井田小 本多弘子

初めて一年生を担任すると、とまどいことが多いが、中でも一番泣かされるのが四十五分の授業をいかに持たせるかである。そこへいくと、二年生を受け持つ現在ずいぶん楽をしているが、それでもまだ、ソワソワ、ゴソゴソ、ヒソヒソを始める子が目につく。こちらもつい一年生に対しては持っていたはずの思いやりを忘れて、叱って正そうとしてしまう。

これではいけない。全員に四十五分の緊張を強いるのではなく、たとえ五分でもいっしょうけん命にやったと言える時間を持たせたいということから三分間勉強が生まれた。

なぜ三分かという理由は、た

またま保健室で見かけた三分間の砂時計を取り入れたこと、「なあんだ。たったの三分ぼっちか。それくらい——」

と、どの子にもやる気を起こさせる長さであると思われるからである。

どの教科で、時間のどこで、どのように使うかは特に決めてないが、国語では、新出かん字を覚えたところで、いくつ正しく書けるかとか、動作を表わすことばをいくつ挙げられるか、という具合である。また、算数では、例題に一分三十秒、解説の後で練習問題に六分という使い方もする。

最近では、授業態度があまりにも悪くなると、



「三分、不動！」とか、

「三分で、水着に替えて、机、腰かけ、服の整頓をして、廊下に整列！」

というように生活面でも活用している。

今は、競争意識でやっている子も多いが、最終的には、三分間という長さがひとりひとりの中で生かされ、それがやがて六分に、九分になり、そして、四十五分の授業に前向きに取りくめることができるようにと願う。

テレビと英語

美川中 加藤忠彦

「先生、今日はテレビ？」
「なんでテレビがいいんだよあ」
「ほや外人の英語がきけるもん」
失礼ながら外人の英語と先生のと区別しているらしい。さしずめ、私の怪人の英語らしい。NHKの英語番組を視聴させて四年になる。

好奇心的視聴を卒業した生徒たちはテレビからの英語を聴きとろうと真剣になっている。ほんものの英語を聴きとろうとして眼が輝いている。ひとつのスキット(小話)の内容を聴きと

れた喜びは大きい。

「いらん言葉は切り捨て、大切なカギになる文は聴き逃がすな」
「スキットの内容のほしいのの意味がわかればよい」視聴前の口ぐせだ。点と線の理解よりも面的な理解に重点をおいている。

細かい点まで全部聴きとろうとして、カギになる文を聴き逃がすと今までの自分のように失敗してしまうから。

テレビのスキットはコミカルに構成されているので、生徒の笑いが起こった場面によって、本当に理解したうへの笑いなのかそうでないのが判別できる。視聴し終えて、質問が始まる。

「アィムソーリーってなに？」
「ユアーライトってのは？」
質問にはすぐ答えず、「どういう場面その文がでたか思い出してみな」その文の前後関係はどうだったかな」
生徒たちにとっては、抽象的な表現や、会話のつなぎの言葉の聴きとりは困難なようである。次にこちらが質問する。「あのスキットの全体の意味は？」

「よし、だいたいわかったという段階でよろしい」
「それじゃ、なぜあの場面スキミたちは笑ったのかな？ その訳は？」
視覚と聴覚とあいまって、テレ



ビからの英語を聴きとって理解できたか否かのチェックは他のメディアよりも確実性が高い。

テレビ視聴を重ねていくうちに生徒の耳が「生きてる英語」に慣れ、いつか「文字英語」から習得したものと「統合」されるようになった時、素晴らしいものになるはずだと確信している。

「みんなが大きくなったら、先生といっしょに海外旅行へ行こうや、いざお外国は」
「だけど、英語が使えんとなあひとりでおもしろい所へも行けんだぞ」
何で英語をやるのか入試以外に、ひとつぐらい他に目標をもたせてやってもいいじゃないかと思いつつ、今日も録画のタイマーをセットする。



〔寄贈刊行物・資料等〕
◇ころんでも起こすな
県教委・県名高P連編
家庭教育の道しるべとして子
供のしつけの見直しと方法を述
べる。A5判・六五頁。

◇ふるさとの文化
南中現職教育委員会編

南中文化祭でとりあげた郷土
の偉人創作シナリオとふるさと
の歌集・A5版・一〇〇頁。
◇子どもにすすめるこの一冊
現職教育学校図書館部編
児童生徒への推せん図書の手
引として刊行した学校図書館シ
リーズ第四集。B6判・六六頁

三岸好太郎展とプラハ少年合唱団

教育文化都市岡崎にふさわしい催しふたつ

芸術の秋に先駆けて、八月十一日から一週間、ご家人の生活を描く時代小説作家子母沢寛と異母兄弟関係にある俊才画家、三岸好太郎展―特別出陳三岸節子―が開催される。

共に、教育文化都市岡崎の面目にかけて、成功させたいものである。



マスクをつけた道化(1929)

青春の抒情を謳った夭折の俊才画家

三岸好太郎展

特別出陳 三岸 節子

8月11日(金)⇒27日(日)

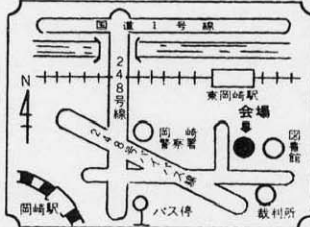
岡崎市美術館 10時～6時

■同時開催

岡崎市 名誉市民三人展

〈石田茂作・廣部屋福平・内藤卯三郎〉

〈会場案内〉



国鉄・名鉄バス 岡崎警察署前下車徒歩3分

▽山中小の研究発表
期日9月29日(金)・AM8時
学校音楽主任

因に、プラハ少年少女合唱団の公演日時・場所・内容等は次のとおり。
▽日時 九月一日午後三時
会場 岡崎市民会館▽公演内容
合唱・民族舞踊・岡崎のハーモニーとの合同合唱▽入場料
親子券三〇〇〇円、一般券二五〇〇円、小中高生券一五〇〇円
▽申込先 市内各楽器店か小中学校音楽主任

30分から▽主題 書く意欲を高め豊かな表現力を育てる作文指導▽内容 研究実践発表・公開授業・分科会協議・講演(愛知淑徳大学教授・平井昌夫教授) ■「ゲンジボタル」の本刊行 河合中学校生徒のゲンジボタルの養殖・研究や地元保存会の自然保護活動の協力や理解が実を結び、このほど、河合中古田忠久先生ら三人の共著で、ゲンジボタル生態写真集が中日新聞本社から出版された。

全編カラー写真を使い、その写真と適切なコメントで、岡崎が誇るゲンジボタルの神秘的生態を解明してくれる 天然記念物、初夏の風物詩の主、ゲンジボタルの写真集は、単に市民の私達に親しみある本というだけでなく、理科学習の資料や自然保護活動の報告書としてもまた 貴重な刊行物といえよう。

貴重な刊行物といえよう。
A5判、45頁、
中日新聞本社、
定価一、二〇〇
円(市内各書店で販売されている。)

第六回

教育文化賞実施要項

1 趣旨 岡崎市の教育文化振興に寄与する個人・または団体のすぐれた業績や現に続けている研究に「教育文化賞」を贈り、顕彰・助成を行なう。

2 選考方法 本人・団体よりの申請・または関係機関の推薦を受け「選考委員」が選定する。

3 表彰 受賞者(数件)発表は、11月上旬。授賞式は11月中の予定。賞状のほか、教育文化奨励賞をおく。

4 申請・推薦要領

・所定の用紙に所要事項および業績内容の概略を記入し、必要な資料があれば三点以内に添付する。
・しめきり 昭和53年9月16日(土)
・連絡および送り先 岡崎市教育委員会学校教育課 教育文化賞担当係 (電話 二三一六四三九)
5 備考
・申請・推薦用紙は各学校または市教委にあります。

石川家成茶毘之碑



所在地一岡崎市鴨田町

鴨田町西光寺の北西麓、ソニーサービスセンターのすじむかいに、昔、年老いた松があった。茶毘の松と呼ばれ、真伝の大松（すででない）と並ぶ、枝ぶりのよい名松であったという。

石川家成は、家康の重臣で、甥の数正の数奇に満ちた一生にくらべれば温厚・実直な、三河武士であった。その家成は七十六歳、大垣城で没したが、遺体はここ魂場野に運ばれて茶毘にふされたという。

ここには、家成の墓を守るように、いくつかの宝篋印塔が並ぶ。

茶毘松はその中央にそびえていた。松が枯れ、株が朽ちるとともに、墓地も荒れ放たれに なっていたが、区画整理事業のため、周囲が造成されて、人もよく訪れるようになったという。

そのためか、先年、家成の菩提寺によって玉垣が修復された。墓標の近く、桜樹の陰に、高さ二メートル余もある立派な頌徳碑が建っている。家成の徳をたたえて、大正七年に旧亀山藩士が建てたと碑文には記されている。撰は万葉集を集大成した佐々木信綱である。

●カット

岡崎小

富田良子

この本を

- 狼に育てられた子 J. A. レシング 福村出版 ￥ 900
- わが街角(一) 早乙女勝元 新潮社 ￥ 800
- 雑木林の四季 足田 輝一 平凡社 ￥ 550
- 宇宙 朝日新聞科学部 朝日新聞社 ￥ 640
- わたしの知的生産の技術 加藤秀俊ほか 講談社 ￥ 890
- 漢字のまるばつ 江守 賢治 日本習字普及協会 ￥ 700
- 夫と妻のための老年学 水野 肇 中央公論 ￥ 720
- 作文評価の基準と方法 後藤金好他 研文社 ￥ 500
- 茂吉秀歌(上・下) 佐藤佐太郎 岩波書店 ￥各 280
- 子どもの事実 斎藤 喜博 筑摩書房 ￥ 750

乙川、男川、どちらへ行こうか。乙川の方が変化がありそうだ。それじゃあと車にカヌーとゴムボートを積んで。川から見る風景は、これが日本の川かと思うような、つたのからんだ木があったり、深くよどんだ湖があったり。視点を変えればすべてが新鮮 発想転換で、マンネリ脱出をはかりたいもの。

シオシア

暑い日が続く。じっとしていても汗がにじんで来る。思わず「暑い、暑い」と連発する。うちわをバタつかせて、しばし涼を求める。

近頃のうちわは竹に代って合成樹脂が多くなった。感覚的な涼しさはやはり竹製。何でも安価な合成樹脂にたよるのとは考えものだ。

人工衛星が地球の裏からテレビの画像を送ってくる時代。SFブームに乗って、ラジオ星だのブラックホールなど、天文の最新知識の中に住み、星占いに一喜一憂する現代っ子たちも、夜空のお星さまには弱いようだ。せめて織姫星、ひこ星ぐらいいは見つけさせたいな。八月十日は旧暦の七夕。

「スカートはいいな、夏は」と、汗だくだくのM氏。

「でも、けっこうストッキングって暑いよ」と私。

……とは言うものの、この夏の流行は肩もあらわなベアールック。涼しい夏が過ごせるかも……。

ちよつと勇気があればの話です。